

—発表資料—

2014年6月16日

ライオンのお洗濯関連商品で暑い夏場も清潔に
クールビズをより快適に実践する「クリーンビズキャンペーン」のお知らせ
～吉本芸人出演の動画「クリーンビズ芸人宣言！」などお楽しみコンテンツも充実～

ライオン株式会社（代表取締役社長・濱 逸夫）は、環境省が提唱する「クールビズ」運動が今夏10年目を迎えるにあたり、クールビズをより快適に実践するための啓発キャンペーン「クリーンビズキャンペーン」を2014年6月16日より実施します。暑い夏場に不快に感じる原因のひとつである衣類のニオイ・黄ばみ・黒ずみをきれいに落として、清潔な生活を送ることを応援してまいります。

なお、当社は、環境省の気候変動キャンペーン「Fun to Share」に賛同しています。



<クリーンビズキャンペーンのトップページ>



- 名 称：クリーンビズキャンペーン
- 実施期間：2014年6月16日（月）～8月31日（日）
- 概要：期間中、おすすめ商品ブランドサイト内に「クリーンビズキャンペーン特設サイト」を開設いたします。
URL <http://cleanbiz.jp>
サイト内では、動画コンテンツ「クリーンビズ芸人宣言！」やライオンお洗濯マイスターが教える「クリーンビズお洗濯講座」、暑い夏を涼しく過ごすためのグッズが当たる「COOLグッズプレゼント」コーナーがご覧いただけます。

1. 動画コンテンツ「クリーンビズ芸人宣言！」

吉本の人気芸人の楽屋をアポなしで訪問し、彼らの清潔度を赤裸々にしてしまうドキュメンタリー風動画「ハイキングウォーキング篇」と「タケト篇」の2編です。



ハイキングウォーキング篇



タケト篇

2. クリーンビズお洗濯講座

夏場に気になる衣類の汗ジミやニオイ、黄ばみ、エリや袖口の汚れをすっきり落として清潔に過ごすためのお洗濯テクニックを、ライオンお洗濯マイスターの山縣義文をご紹介します。

3. COOLグッズプレゼント

<応募方法・賞品>

【答えて当たる！コース】

キャンペーンサイト内の応募フォームでクイズの答え、必要事項を入力の上ご応募ください。
クイズは「クリーンビズ芸人宣言！」動画の内容より出題されます。

〔賞品〕ダイソン AM02 リビングファン（アイアン/サテンブルー）・・・・・・・・・・5名様

【買って当たる！コース】

キャンペーン対象商品を合計300円以上ご購入の後、キャンペーンサイト内の応募フォームで商品名、金額、バーコード番号、ご希望の賞品、その他必要事項を入力の上ご応募ください。

対象商品：ライオンファブリックケア ブランド全商品
（トップ、ブルーダイヤ、ソフラン、ブライト、アクロン、お洋服のスタイルガード、レインガード、エレガード、ケアベールなど）

〔賞品〕セラヴィ フローズンメーカー・・・・・・・・・・・・・・・・・・20名様

ブラウン ハンドブレンダー・・・・・・・・・・・・・・・・・・20名様

タカラトミーアーツ プレミアムビールサーバー 極冷・・・・・・・・・・20名様

【Wチャンス】

「答えて当たる！コース」「買って当たる！コース」応募者の中から抽選にもれた方が対象となります。

〔賞品〕ハーゲンダッツギフト券（ミニカップ2個と交換可能）・・・・・・・・・・1,000名様

<応募期間> 2014年6月16日（月）～8月31日（日）23:59まで

<抽選発表> 賞品の発送を持って発表にかえさせていただきます。

■お問い合わせ先：クリーンビズキャンペーン事務局

電話：03-6280-6075

受付期間：2014年6月16日（月）～2014年9月30日（火）

平日 10:00～17:00（土・日・祝日を除く）

お問い合わせ窓口
<報道関係の方> コーポレートコミュニケーションセンター 03-3621-6661

<参考資料>

～クールビズに関する意識調査～

汗のニオイや汚れがある人のイメージ「気遣いが出来ない」「生活がルーズ」!?

今年10年目を迎えるクールビズに関する意識について明らかにするため、20代～50代の働く男女400名を対象に2014年6月、「クールビズに関する意識調査」を行いました。

その結果、以下のことがわかりました。

<調査結果サマリー>

- 1. 浸透する「クールビズ」。しかし我慢を強いられている現実もあり**
 - ① クールビズの考え方に対して「賛成」とする人が95%とほとんど。
 - ② クールビズによって暑さなどを我慢しているとする人が8割近く。
- 2. 他人の汗のニオイや汚れが不快の要因に その発生源は男性に限られず**
 - ① 通勤中や職場で9割近い人が他人の汗のニオイ・汚れで不快な気分。
 - ② 5人に1人が20代女性からも汗のニオイや汚れを感じたことがあると回答。
- 3. 自分の汗のニオイや汚れ、他人からの見られ方「自信ない」が半数近く**
 - ① 清潔に保っているつもりでも、自分の汗のニオイや汚れには「自信がない」が約半数。
 - ② ニオイや汚れへのケア意識は、男女で差が明確に。
- 4. ニオイや汚れがある人のイメージ「気遣いが出来ない」「生活がルーズ」**
 - ① 汗のニオイや汚れがある人のイメージは「生活がルーズ」「他人への気遣いが出来ない」。

<調査概要>

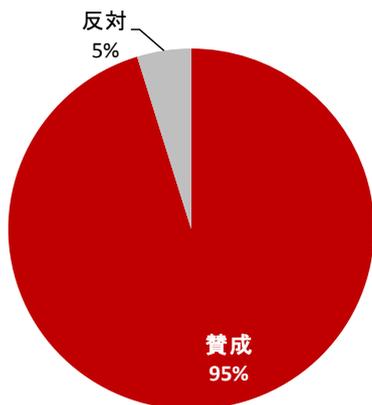
■調査時期：2014年6月 ■調査対象：20～50代の働く男女400名 ■調査方法：インターネット調査

■浸透する「クールビズ」。しかし我慢を強いられている現実もあり

「クールビズ」の考え方に対して賛成の人は95%にのぼり、その考え方が働く人々に浸透していることがわかりました。しかし一方で、暑さに「我慢を強いられている」とする人が8割近く(我慢している23%、多少我慢している55%)おり、必ずしも快適に過ごすことが出来ていない実態が浮き彫りになりました。

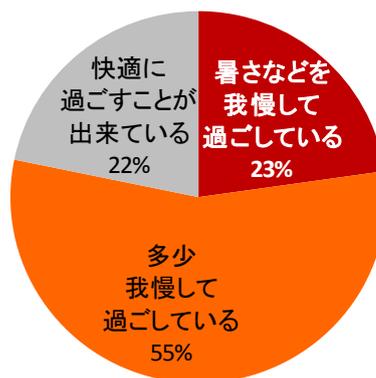
<グラフ1>

あなたは、室温の設定温度を抑える代わりに軽装で働く「クールビズ」の考え方に賛成ですか。



<グラフ2>

「クールビズ」により、夏場を快適に過ごすことができていますか。



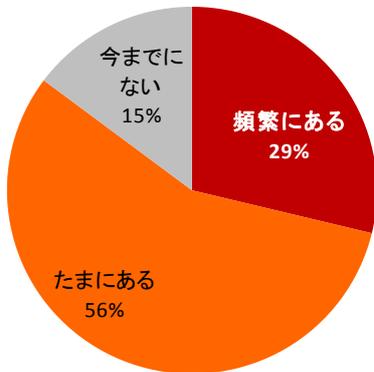
■他人の汗のニオイや汚れが不快の要因に その発生源は男性に限られず

クールビズの期間中、通勤中や職場などで「他人の汗やニオイにより不快な経験をしたことがある」と答えた人は **85%**にのぼりました。また、どのようなことが気になったのかを聞いたところ、約半数(46%)の人が「自分の汗などのニオイ」と答えたのに対し、最も多いのは「他人の汗などのニオイ(70%)」で、夏場を必ずしも快適に過ごせていない原因が、自分自身の暑苦しさやニオイだけでなく、他人のニオイや汚れによることがわかりました。

また、汗のニオイや汚れを感じたことがあるのはどのような年代・性別の人からかを尋ねたところ、総じて女性より男性が多く、年代は高い方が多い傾向にありました。女性については、20代女性からは5人に1人(20%)が、50代女性からは4人に1人(26%)が「汗のニオイや汚れを感じたことがある」と答えており、女性が発生源となることも指摘され、油断できない問題であることが伺えました。

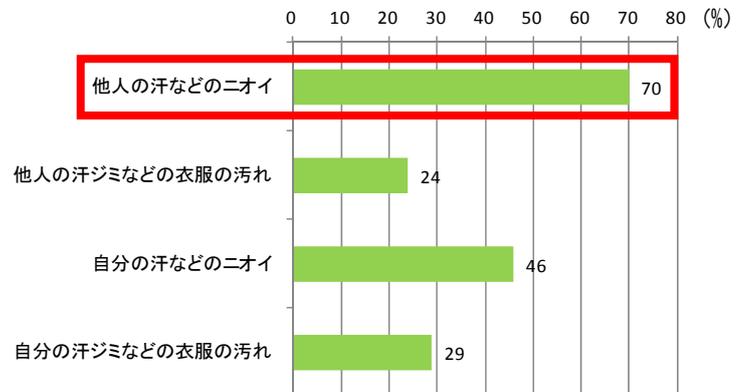
＜グラフ3＞

夏場の通勤中や職場などで他人の汗のニオイや汚れによる不快な思いをしたことがありますか。



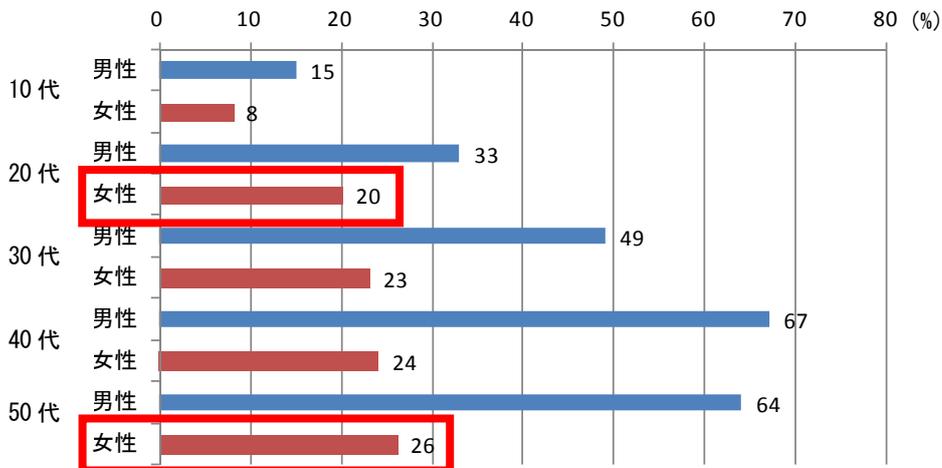
＜グラフ4＞

通勤中や職場などで気になったことがあるのはどんなことですか。(複数回答)



＜グラフ5＞

あなたが他人の汗などのニオイや汗ジミなどの衣服の汚れで気になったことがあるのは、どの年代、性別の人ですか。(複数回答)



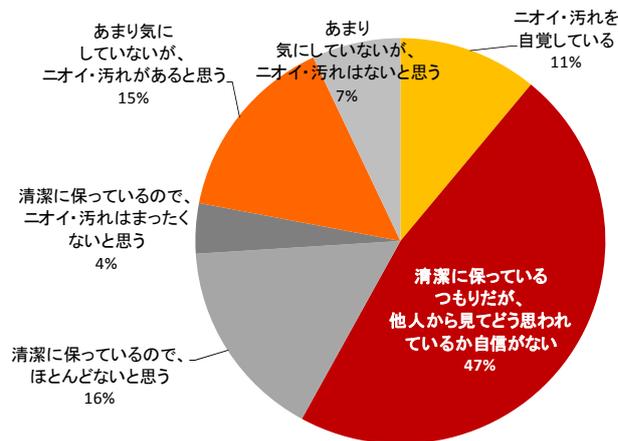
■自分のニオイや汚れ、他人からの見られ方「自信がない」が半数近く

次に、自分自身のニオイや汚れについてはどう自覚しているか聞いたところ、半数近く(47%)の人が「清潔に保っているつもりだが、他人から見てどう思われているか自信がない」と答えました。次いで「清潔に保っているので、(ニオイや汚れは)ほとんどないと思う(16%)」、「あまり気にしていないが、ニオイ・汚れがあると思う(15%)」、「ニオイ・汚れを自覚している(11%)」と続きました。自覚の有無にバラつきはあるものの、多くの人が自己評価と他人からの見え方が必ずしも一致しないことに不安を感じている様子が垣間見える結果と言えそうです。

続いて、「自分の汗のニオイや汗ジミなどの衣服の汚れを防ぐために心がけていることがある」と答えたのは半数ほどで、特に男性で「ない」と答えた割合は、女性の34%に対して56%にのぼり、夏場は汗のニオイや汚れを不快に感じているにも関わらず、それに対する対処がおろそかになっている実態が伺えました。

<グラフ6>

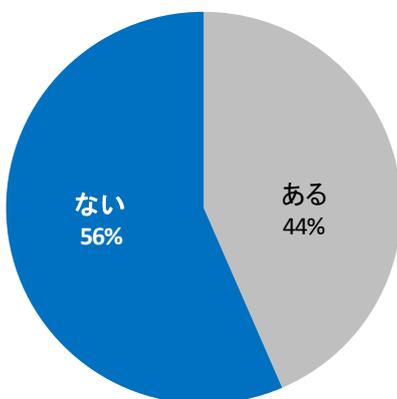
ご自身の汗のニオイや汗ジミなどの衣服の汚れについて、ご自身では、他人からどのように思われているとお考えですか。ご自身のお気持ちとして、あてはまるものをお知らせください。



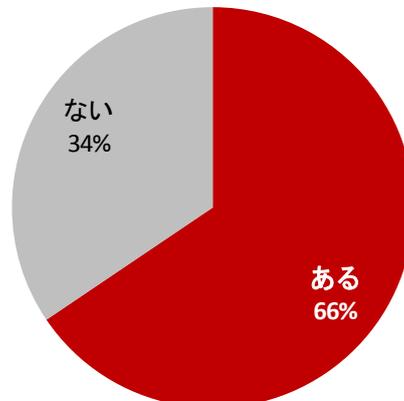
<グラフ7>

あなたは自分の汗などのニオイや汗ジミなどの衣服の汚れを防ぐために心がけていることはありますか。

【男性】



【女性】



■ニオイや汚れがある人のイメージ「気遣いが出来ない」「生活がルーズ」

最後に、汗のニオイや汚れが目立つ人のイメージについては、「他人に対して気遣いが出来なさそう(70%)」、「生活がルーズで、部屋なども汚れていそう(70%)」などの値が高く、ニオイや汚れが生活全般の乱れや対人関係での不調和を想起させる要因になっていることが分かりました。さらに、「恋愛や結婚がうまくいかなさそう(62%)」、「その人のパートナーや恋人も清潔ではなさそう(52%)」、「仕事の要領や段取りが悪そう(52%)」、「チームや組織にうまく馴染めなさそう(51%)」などにおいて半数以上の方が「そう思う」と答えており、ビジネスや対人関係を円滑に進めるためにも、夏場のニオイや汚れのケアが重要であることが調査結果から読み取れます。

<グラフ 8>

汗のニオイや汗ジミなどの衣服の汚れが目立つ人に対するイメージについて、それぞれお気持ちに近いものをお知らせください。(複数回答)

